

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	高根沢町			代表者名	神林 秀治
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	企画課	連絡先電話番号	028-675-8102
担当者役職	係長	担当者氏名	福田 三恵	連絡先E-mail	
住所	329-1229 栃木県高根沢町大字石末2053番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	連絡先E-mail

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	DX推進計画（ビジョン）の策定と推進
概要	DX推進計画（ビジョン）の策定支援をお願いしたい。（課題の整理方法、町民・職員に理解されやすい目標の設定、資料の作成支援）また、職員へ意識醸成のためのDX研修をお願いしたい。		
支援を求める分野	計画策定支援 AI活用		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年9月16日	講演(実地)	9時00分	17時15分	
				活動時間（分）	495
2-2. 派遣場所	会場名	高根沢町役場		最寄駅	JR宝積寺駅
	所在地	栃木県塩谷郡高根沢町大字石末2053番地		最寄駅からの交通手段	徒歩（15分）またはタクシー

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	佐藤 泰格
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	<div>・一般職と管理職向けにAI研修を実施いただいたが、どちらにも高評価で分かりやすい研修を実施いただいた結果、職員の意欲がとても向上したため。</div> <div>・実際に都城市で使用しているツールを使わせていただき、体験させていただけたこと。</div>
アドバイザーへの要望事項	先生は、窓口DXについても非常に経験豊かでいらっしゃるので、ぜひ来年度も引き続きご支援いただきたいと思います。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	37人
	属性	自治体職員	住民
	人数	37	
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果			
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	本町では、生成AIのツールについて導入がされておらず、研修等の実施もされていなかったため、職員は生成AIについて、メリットもリスクについても理解していなかった。そのため、活用について検討する機会もなかった。		
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	生成AIについて理解を深め、活用できる場面を職員がイメージできるようになることで、業務効率化が図られ、住民サービス向上につなぐことができる。		

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	午前 一般職員向け生成AI研修 午後 管理職向け生成AI研修 研修の合間の時間で、DX推進計画について町が追加した部分の助言をいただいた。 研修終了後、デジタルツールの導入方法などDXの進め方について助言いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	生成AIについて、職員の理解が深まり、生成AI活用について意欲が高まった。 前回の支援に引き続いてのDX推進計画についてアドバイスをいただき、ほぼ、完成することができた。 様々な業務の中で、デジタルツールを入れるべきかどうかについて、相談にのっていただき、実際導入してどんな運用をしているか、教えていただいた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	①事業に係る計画書等を策定できた
	よくヒアリングを実施いただき、DX推進計画について当町にあったレベルの提案をいただけたこと。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	持ち越しにはなったものではありませんが、今回佐藤先生の助言を受けられた職員は、ほんの一部のため、もっと多くの職員に佐藤先生のDX関連の研修を受講させ、DXの意識向上を図り、住民サービスの向上に繋がたいと思います。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(E X C E LやP D Fでの分析結果を添付されても結構です。)	
	アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 添付のとおり。	
4ー3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
4ー4. 事業の最終的な目指す姿	先進的なDXを行っている講師から、助言を受けることにより職員一人ひとりの意識向上を図り、DXの推進を通じて、住民目線に立った行政サービスの一層の向上に繋げる。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

